

箱根町総合計画審議会第4回会議 会議録

1. 日 時 令和3年9月16日（木）午後1時00分～3時15分
2. 場 所 箱根町役場本庁舎4階 第1～3会議室（オンライン会議）
3. 出席者【委 員】
（役場）勝俣正志、松井弘子、鈴木茂男、勝俣直子、
八木下博之
（WEB）勝俣眞和、和田猛、田中啓、土屋喜久夫
（欠席）森博行
【箱根町】
石川企画観光部長、関田企画課長、早野企画課副課長、
杉山企画課企画調整係長、一寸木主事
【㈱サーベイリサーチセンター（委託業者）】
一杉浩史

4. 内 容

- 1 企画観光部長あいさつ
- 2 議 題
 - (1) 総合計画後期基本計画検討（案）について
 - (2) 今後のスケジュールについて
 - (3) その他

企画課長

1 企画観光部長あいさつ

みなさんこんにちは。第4回総合計画審議会を開催いたします。はじめに、企画観光部長の石川よりご挨拶を申し上げます。

企画観光部長

皆さま、こんにちは。企画観光部長の石川でございます。本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。皆さまには日頃から町政諸般にわたりまして、それぞれのお立場で、ご理解、ご協力をいただいておりますこと改めてお礼申し上げます。

さて、5月末の前回会議に引き続き、第4回目となる審議会でございます。7月の初旬に、皆さまに計画の骨子案をお示しして以降、庁内の各部、各課において計画内容の検討を

進め、ヒアリングなども随時行いながら内容の精査にあたってまいりました。本日は、このような経過を経た計画の検討案について、内容の説明させていただきますので、これについて皆さまにご議論いただきたいと考えております。

委員の皆さんには引き続き忌憚のない、貴重なご意見を賜りたく、お願い申し上げます。限られた時間の中、また、オンライン会議ではありますが、よろしく願いいたします。

以上、はなはだ簡単ではございますが、会議に先立ち、挨拶とさせていただきます。それでは、どうぞよろしくお願い申し上げます。

企画課長

本日の会議ですが、新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン会議としています。オンライン会議に対応した機器を持っていない方は役場で参加しています。役場でのコロナ対策として、消毒液の設置や座席の間隔を広げる、マスクの着用等を行い開催いたしますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

次に資料の確認をさせていただきます。会議次第、資料1「総合計画後期基本計画検討（案）」、資料2「今後のスケジュール」、資料3「総合計画審議会名簿」の3種類を事前にお渡ししていますが、不足等ございませんでしょうか。

議事の進行につきましては、総合計画審議会規則第4条第2項の規定により会長が行うこととされておりますので、田中会長よろしくお願いをいたします。

会 長

みなさんご無沙汰しておりました。本日はよろしくお願い申し上げます。第3回会議が5月であったということで間が空きましたが、その間の経緯は先ほど石川企画観光部長より説明があったとおりです。前回の会議で示された資料が不十分であったため、少し作業を進めてからということで本日の開催となっております。本日は資料1で後期基本計画の素案が完成版に近い形で作成されているため、これにつきまして出来るだけ時間をかけてみなさんからご意見をいただければと思います。

2 議 題

それでは議題（1）「総合計画後期基本計画検討（案）」に

ついて」に入らせていただきます。事務局から説明をお願いします。

(1) 総合計画後期基本計画検討(案)について

事務局から、資料1を基に「総合計画後期基本計画検討(案)について」説明した。

会 長

ありがとうございました。今の説明が本日の審議の対象となりますので時間をかけて、みなさんに意見をいただければと思います。ページ数が多いため、部分ごとに分けて意見をいただければと思います。目次をご覧ください。最初は基本構想の部分～後期基本計画「4. 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要」までの25ページほど、次に、「5. 基本目標ごとの展開」で、ここが一番重要なところになります。基本目標が1～6までありますので、基本目標1～3と基本目標4～6に分けます。最後にそれ以降の部分とします。便宜上分けましたが多少前後にずれてご意見いただいても構いませんのでよろしくをお願いします。

それではまず、最初から4章の終わりまでの25ページの間でご意見ご質問等ございましたらよろしくをお願いします。

私から1点伺います。21ページにある基本目標5の施策30「多様な観光資源を活かした誘客と受入体制の整備」について、もともと「誘客と受入体制の充実」でしたが、整備に変えたと思います。しかし、整備は何か出来上がっていない体制や仕組みを作ること、充実には既に作られた体制や仕組みを強化していくことだと思いますので、充実から整備に変わると後戻りをしたと捉えてしまいます。実態としてはどうなのでしょう。

事務局

実態としては体制や仕組みが出来上がっていると思いますが、充実に戻すか整備にするのか内部で再度検討します。

会 長

充実という言葉が抽象的であると意見があったんですね。強化も抽象的ですが、ニュアンスとしては機能をもっと追加していくということなので、文言を工夫してみてください。

<p>委員</p>	<p>15 ページに施策の主な内容-消防・交通安全・防災・防犯「火山活動や火山防災対策に関する周知を行う等、啓発活動を推進します」とあります。自治会の強羅地区については特に問題があると思います。もちろん啓発、周知等はもちろんやっていたかかないといけないですが、火山の規模によって、避難場所や避難経路等については決まりがあるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>周知、啓発活動の中で避難場所や経路が表示されているかは確認しないと現時点ではわかりませんので、後日回答させていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>確認していただくということと、もしそれが周知されていないということであれば、総合計画に記載するというよりは、実態としてすぐに取り組んでもらえればということですね。 (審議会後の確認結果：神奈川県と箱根町が共同で設置する箱根山火山防災協議会において、平成31年2月に箱根山(大涌谷)火山避難計画および大涌谷周辺の観光客等の避難誘導マニュアル(改訂版)が策定されており、避難場所及び避難経路等が記載されているもの。また、策定時には自治会への説明及びホームページに公開しているもの。)</p>
<p>委員</p>	<p>16 ページに施策の主な内容-伝統文化・産業の部分で神楽や獅子舞等について、仙石原、宮城野地域では若い方が少ないということで、将来的に継承者がいなくなると心配されています。これは長い歴史の伝統文化であるため、若い方に参加してもらい、そして育成する具体的な方法を考えているのであれば、教えていただきたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>町生涯学習課が民俗芸能団体連絡協議会の事務局であるため、各団体の意見を聞きながら、出来る支援を行っていきたくと考えを持っています。</p>
<p>会長</p>	<p>委員の発言に対しての施策は今の計画案には盛り込まれていないということですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>総合計画か総合戦略どちらかで記載はあります。</p>

- 会 長 それでは次のまとまりに入ります。26 ページから 93 ページまでの基本目標 1～3 まででご意見ご質問ありましたらお願いします。
- 委 員 82 ページの施策 18「住環境の整備」で、観光街路灯について、現在、各自治会が維持管理を行っています。記載のとおり電気代や修理代を町から補助していただいておりますが、どうしても大涌谷の近くはポールが腐ってしまい、新しくするのに 20 万円ほどかかるのが現状です。強羅だけでも 400～500 本あるため、厳しいです。今、電気代や修理の補助金が少なくなってきたため、今後は町一括管理をしていただき、計画に盛り込んでいただきたいと思います。
- 事務局 総合計画で盛り込んでもらえるかどうかということですが、現段階では難しいと思います。しかし、この維持管理の補助は引き続き行っていきます。地域の実情に応じた要望であれば、例年、自治会からの要望として出していただき、各所管課が検討していきます。総合計画では記載のとおり、補助を引き続き行っていくということでそのまま記載させていただければと思います。
- 会 長 街路灯の管理を自治会が管理するのは一般的なのでしょうか。自治体によるのですか。
- 事務局 自治体によると思います。
- 会 長 結局、自治体にお願いしても、業者にお願いするしかないのでしょうか。そちらの方が効率いいですね。検討してみてください。
- 委 員 82 ページの施策 18「住環境の整備」の地籍調査のことで、これは国の施策であり、御殿場市でも地籍調査を行っていて、共有地が多いです。湯本の地籍調査を開始したとありますが、順調に進んでいますか。
- 事務局 担当部署に確認しないと分からないため、即答はできません。
(審議会後の確認結果：調査自体は進んでおり、平成 30 年

～令和2年で0.24㎥実施し、令和3年度は0.04㎥実施予定であるもの。)

委員

34 ページに湯本小学校区で放課後子ども教室とありますが、これは放課後児童クラブとは違ってどのような目的があるのか教えていただきたいです。

次に、37 ページの目標とする指標で子育て支援講座参加者数とありますが、現状値が6人で目標値が30人と増やすことは大変だと思いますが、何か具体的な方法は考えていますか。また、目標とする指標で宅食サービス提供食数とありますが、目標値が増えることが良いことなのでしょうか。

事務局

先日、子育て支援課と生涯学習課にヒアリングを行った際、放課後子ども教室は放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、学習活動やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組を実施する事業と伺っております。

会長

児童クラブは基本的には親が働いているため、施設に子どもが行って時間を過ごすということで、子ども教室は親が働いていてもいなくても学校の教室を開放して、そこで色々行って帰ることができるということで、居場所づくりという意味では同じです。

後は、37 ページについて2つ質問がありましたがいかがですか。

事務局

目標とする指標-④子育て支援講座参加者数については、担当課に確認し、回答させていただきます。

また、⑤宅食サービス提供食数については、今年度から開始した制度であり、これから増えていくと予想しています。確かに、数が増えると親が面倒を見られていないと感じる部分もあるかと思いますが、目標としては増であるため、働き方が様々で、ご飯を食べられない子どもがいるよりは宅食サービスを利用して食事ができる環境があった方がいいと考えています。

委員

どちらかというと親が子どもにしっかりとご飯を作る教

- 育をするのではないということですか。
- 事務局 働き方が様々であり、夜にも働いている方もいるため、宅食サービスを利用すれば、子どもにも食事が行き届くので増を見込んでいます。
- 会 長 しばらく経過を見て、行っていただければと思います。
- 企画課長 補足ですが、目標とする指標-④子育て支援講座参加者数について、前期基本計画の際も、同じ指標として掲げています。平成27年度時点では25人いたものを、令和3年度には30人にするという目標でした。今回の後期基本計画に示した、現状値が6人で、目標値が30人であるということで目標値は変わっていないということです。
- 会 長 前期と後期で同じ目標値ということですね。
それでは、次に移ってよろしいでしょうか。基本目標4～6についてです。ページとしては94ページから146ページまでです。前の基本目標についてでも構いませんが、基本的には基本目標4～6についてのご意見、ご質問を受けたいと思います。
- 委 員 96ページ施策22「循環型社会の形成」-施策の展開3「箱根EVタウンプロジェクトの推進」とありますが目標とする指標の設定はしないのでしょうか。
- 事務局 町内の充電インフラの整備を行い、EVの普及に努めるということを目的にしているため、指標を設けることは検討していません。
- 会 長 今、何カ所くらいあるのでしょうか。
- 事務局 現在、湯本、箱根、に1台ずつあり、今年度は仙石原に1台設置予定であります。
- 会 長 24時間使えるのでしょうか。
- 事務局 そうです。急速充電器を設置しています。

- 会 長 目標値は設定しないということですが、委員いかがでしょうか。
- 委 員 町と町民が一体となって、脱炭素化社会を目指すために、充電インフラ等のEV化を進めたいと思うので、目標数値はどのようなかなと思いました。
- 会 長 地元の住民や観光業者等と連携し、少しでも進めていくという意欲が示せればと思います。今の委員の意見を担当部署に伝えてください。担当は企画課ですね。
- 委 員 101 ページの施策 24「景観の保全・形成」になりますが、箱根は夏になると道路に多くの草が生えております。歩道の草を刈ろうと思い、町に確認するとその場所は神奈川県管轄であるため、町の担当ではないという回答をいただきました。私たちが草刈りしていいのかどうか。観光客の方々も歩道を歩いたりする際に、汚いと思われるため、県との連携を考えていただきたいと思います。
- 事務局 道路を管轄する課で、臨時雇用を行い、道路パトロールを行っております。また、国や県に連絡する等、対策をするよう担当課に連絡します。
- 会 長 そのような問題があるということを町でも共有していただければと思います。
- 委 員 104 ページの施策 25「防災対策の推進」で前回の会議で災害の備えの意見を言いましたが、先日、熱海市の土石流の原因が盛り土ということもあり、町内の分譲地の土砂災害が心配されます。また、大雨が最近多いため、土砂崩れが心配されます。その辺りの備えや対策はいかがでしょうか。
- 企画観光部長 熱海市の土砂崩れがあり、箱根町でも盛り土の危険性については認識しております。担当課では、町内で小田原市のように危険な場所が何カ所もあるということは現在把握していませんが、神奈川県が県内で調査した結果については情報共有をさせていただき、そのうち町内1カ所で行った調査では特に問題ないということでした。今後、同じように異常気

象で大雨や水害が考えられるため、火山災害以外の新たな水害、土砂災害についても対策の考えを改めているところで

委員

現状と課題で「地震、風水害、火山災害、雪害等への対策を進め、地域の防災・減災力の強化を図る必要があります。」とあり、その中に意図が入っているわけですね。

盛り土や造成地の確認の文言があれば、住民がさらに安心かと思います。計画の中にも、文章として謳われていれば総合計画としての重みが生まれるのではないかと思います。

会長

文言だけでも入れられないか検討してみてください。

企画課長

今の部分の補足ですが、施策 25「防災対策の推進」では防災面が記載してあり、町民の暮らし第一のため、そのような記載を入れられるのであれば入れていきたいと思っています。一方で、そのような取り組みを防災という部分だけでいいのかと思っており、79 ページでは施策 17 道路・交通網の充実とあります。ここでは道路や橋りょうのことが書かれており、内容は利便性の向上や計画的に整備する等の記載がありますが、このようなところにも災害対応に取り組みながら安全に利便性の向上を図るという記載もしていくべきかと思っています。

会長

141 ページの施策 35「SDGs の推進」にスモールスタートと記載があります。SDGs についてスモールスタートで取り組むという方針は把握していますが、それをそのままスモールスタートと書く必要はないのかなと思います。まずは着手しますということを宣言することだと思っています。着手するときに、とりあえずやってみますというよりは、箱根において、SDGs、環境等に取り組むことは非常に重要だと示したうえで、まずその一歩としてできることをやっていきますと書いていただきたいです。

141 ページに SDGs 推進計画を策定しますとありますが、本腰を入れて、重要なことだと捉えて計画や体制を整備して、準備を着実に進めますというように、もう少し本気感が伺える記述にしたらどうかと思います。

- 事務局 SDGs のスモールスタートについては、着手します等変更させていただきます。SDGs の推進計画につきましては、「研究・検討を行い、準備を着実に進めていきます」等に変更したいと思えます。
- 会 長 実は本日の午前中に開催された「まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議」でも SDGs についてやはり重要ではないかという意見があったため、町としてもどの程度 SDGs を重要視するかを明確に示すべきであると思えます。
- 委 員 今の内容に引き続き、SDGs の周知はどのように考えていますか。
- 事務局 町のホームページや広報、回覧をはじめ、町では LINE も始めていますので、そのような情報発信を活用し、広く SDGs について周知していきます。
- 会 長 SDGs はどの項目でもそうですが、行政が旗を振るだけではダメです。住民や企業、団体等、また観光客にも協力していただく必要がありますので、みんなを巻き込むということと連携して取り込むことが重要であります。一方的に周知するだけでなく、理念や方針を整理し、書き込んだ方が良く思えます。
- 委 員 SDGs の 17 のゴールは世界的なゴールであるため、漠然としています。そのため、箱根町に当てはめて分かりやすくしてはどうでしょうか。
- 会 長 SDGs 推進計画を策定する段階で、委員の意見を踏まえて、箱根町は SDGs をこのように理解し、このように取り組みますということを実体化して、計画や体制に置き換えていく作業が必要です。時間がかかるにしても、世界でスピードアップして取り組もうということで、若干スピード感をもって対応していただければと思えます。
- 委 員 小田原市の企業が SDGs の取り組みの紹介をしています。企業も取り組みも進んでいるため、箱根町でも企業を交えれば、より理解が深まると思えます。

- 会 長 箱根は観光関係の業者が多いため、企業が取り組みやすいSDGs と取り組みづらいSDGs があると思います。それをどう捉えていくか。計画ということで、総合戦略と同様に計画を進めるためには様々な主体が関わっていく計画にしていく必要がありますし、そのための体制作りも必要であると思います。
- 企画課長 SDGs のことで周知という話がありましたが、住民を巻き込む必要があるということでしたが、まさにその通りです。箱根町の基幹産業は観光業であり、観光関連の団体である箱根DMO や箱根温泉旅館ホテル協同組合等と一緒に議論しながら、箱根版SDGs を作っていくことも考えています。先日、箱根DMO と意見交換する機会があり、年間およそ2,000万人を迎える箱根町であるため、今後、長い目で見たときに環境面やSDGs に配慮していない観光地は利用者から敬遠されてしまう、選択されないのではないかと危機感、問題意識を持っている方が多いという話を伺いました。選ばれる観光地であり続けるためには、環境面やSDGs への取り組みのPRがそのまま誘客PRにもつながると考えています。
- 会 長 次に147ページ以降になります。総合戦略の基本目標と施策が並んでいて、付属資料等があります。総合戦略については別の有識者会議がありますが、総合計画の中にも含まれるため、内容を見ていただき、ご意見、ご質問があればお願いします。
- 委 員 140ページの目標とする指標で「行財政改革アクションプランの進捗」の現状値が33%、目標値が100%とありますが、何が行われて33%となり、どうなれば100%になるのか教えていただければと思います。
- 企画課長 委員から行財政改革アクションプランの進捗率の質問がありましたが、75、76項目計画がありまして、それぞれの項目について、当初定めた計画目標を超える取り組みの率となります。33%が現状値でありますので、25、26項目が計画より進捗しているということです。
- 委 員 167ページ等で空き家の話がありますが、例えば外国人の

従業員がいる企業が増えてきていますが、町の施設等で外国人を受け入れができるような体制は考えていますか。

事務局

空き家バンクに限らず、外国人の受け入れは企画課の方でニーズ感を把握していませんでした。そのため、また話などを伺えればと思います。空き家バンクをはじめ、移住に関して外国人の方を特別扱いすることなく、どの方も均等に支援、対応していければと思います。

委員

58 ページの施策8「学校教育の充実」のところで、私自身やりたいことでもありますが、食育として五感である味覚を小学校 4～6 年生の児童に教えに行ったことがあります。食べてもらいながら味覚を覚えることを箱根でもやったらどうかと思います。

会長

食育の一環としてそのようなプログラムがあるということですね。

委員

学校にシェフやパティシエが訪れて、無料で食育を教えるということがフランスであって、それを日本で行っていません。

会長

日本なりの食文化もあると思うので、担当課に伝えて考えてみてもいいかなと思います。

委員

先ほどの目標とする指標で「行財政改革アクションプランの進捗」の目標値 100%ほどのようになったら達成になるのでしょうか。

会長

私も行財政改革有識者会議に関わらせていただいているので答えますと先ほど企画課長が言っていたのですが、多くの取り組み項目があり、それぞれ目標値を設定しております。目標年度（令和8年度）までにすべての項目で目標値を達成するという事です。

アクションプランの進捗状況資料もホームページでも公開していると思います。この審議会でも一度ご提示しても良かったですね。

- 会 長 資料の作り方の確認ですが、148 ページを見てみると、総合戦略は「施策の方向-実施事業」という体系になっています。前にある基本計画の体系は、「基本目標-施策-現状と課題-取組方針-施策の展開」とあります。前の基本計画の体系総合戦略の体系は少し違います。前の基本計画では事業まであげておらず、違う作りであるのでそこは確認をお願いします。
- 委 員 76 ページの施策 16「多文化交流の実現」で、私自身、和太鼓を箱根町でやっていますが、最初の方でも話がありましたが、お囃子も子どもの人数が減り、太鼓や獅子舞が休止になり、秋には芸能発表会がありますが参加する方が減ってきています。多文化交流を受け入れる形で記載があるため、例えば、学校などで太鼓等を教える場所ができたりして、まず私たちが向こうへ行って、外国人を呼ぶということが良いと思います。その考えが町にはありますか。そうすると、今度こちらに招くときに、箱根の伝統芸能を充実させておいて、発表出来たら良いと思います。その方々が日本に来た際に1、2年働くとなれば、住むところを提供して、日本の中で語学が勉強でき、外国語を必要とする観光業で活躍してもらえば、良いサイクルができるのではないかと。なので交流を受け入れるだけでなく、こちらからアプローチすることも考えているのかお伺いしたいです。
- 企画課長 多文化交流の記載が76と77ページにありますが、76ページの記載は受け入れに特化したように見えますが、77ページの施策の展開3「姉妹都市・友好都市との交流」では箱根町側からの訪問団の派遣と受入という相互交流を目指しています。コロナ禍で現時点では難しいですが、アフターコロナを見据えて、一方通行の交流ではなく、相互にということで計画には盛り込んでいます。
- 会 長 定期的に箱根から人を外国に派遣することはやっていたのですか。
- 企画課長 過去に何度もあります。近年は動きが薄くなっていますが、その前に遡ると多く行われています。

- 会 長 姉妹都市交流も様々なパターンがあり、時代によっても変化しますが、委員の意見も選択肢の一つとして検討していただければと思います。
- 委 員 98 ページの施策 23「自然環境の保全」で「シカの生息が増加傾向にあり、仙石原湿原へ行動域が拡大するなど、シカによる森林や湿原への影響が生じているため、引き続き関係機関と連携し、シカ対策を進める必要があります」とあり、最近ではシカやイノシシ、熊も出てきていますが、具体的に対策を行っていますか。シカやイノシシを近隣の市町村はジビエ（食肉）として活用しているようですが箱根町はいかがでしょうか。
- 事務局 現在、環境省、神奈川県と連携し、主に仙石原湿原を守るため湿原の周りは今年度中にシカ柵が全て囲われる予定であります。
ジビエにつきましては、まだ箱根町は行っておりません。
- 委 員 町全体ではどのような考え、どのような方向性で考えていますか。
- 事務局 現在、環境省や町環境課等でも対策をしていますが、引き続き被害が増えれば新たな対策を考えていきます。
- 会 長 あとはイノシシ、猿、熊等も出ますよね。
- 事務局 イノシシは各地域で出ており、熊も最近では目撃情報があったりします。猿は全面的に駆除をしたようです。
- 委 員 シカは樹木を食べてしまうため、枯れてしまいます。それが災害にもつながるため、今後も対応をお願いします。
- 事務局 98 ページの文章の頭に、「近年」と書いてありますが削除をお願いします。
- 企画課長 現状や課題等に〇〇課と書いてありますが、現時点では各課と調整するために、便宜上付けているだけで、完成版は削除しますのでよろしくをお願いします。

- 委員 19 ページ「後期基本計画策定にあたっての課題 (1) 町民の暮らし第一のまちづくり」の中に「継続的な課題である「医療・交通・買物」とありますが、医療は何が課題なのでしょうか。
- 事務局 医療につきましては、町内に総合病院がないため、そちらを指しています。
- 委員 このような小さな町に総合病院がある方が全国的に珍しいのではないのでしょうか。総合病院と連携がすぐにできる病院があれば私はいいのかなと思います。しかし、みなさんは不安なわけですね。
- 事務局 箱根町では眼科や耳鼻咽喉科等が無いため、総合病院があれば良いとのご意見がありました。
- 会長 ここで一度切らせていただきますので、今後ご意見等ありましたら事務局に連絡をお願いします。
 それでは、議題 (2) 「今後のスケジュールについて」に入らせていただきます。事務局から説明をお願いします。
- 事務局 (2) 今後のスケジュールについてについて
 事務局から、資料2を基に「今後のスケジュールについて」説明した。
- 会長 みなさんが集まって会議をするのは本日が最後になります。9月27日に訂正案をみなさんのもとに送付していただくということです。その後、諮問があり、パブリックコメントを行います。会議後に委員の方が意見を反映できる締め切りはいつを考えていますか。
- 事務局 9月22日をお願いします。
- 会長 9月22日夕方までに意見をいただければ反映できるかもしれないということです。もし意見がありましたら事務局に連絡をお願いします。
 委員のみなさまからご意見、ご質問ありますでしょうか。

無いようですので、最後に議題（3）「その他」ですが、事務局から何かございますでしょうか。

事務局

会議録の確認の依頼を後日させていただきますので、また修正等ありましたらご連絡ください。

会 長

最後に委員のみなさまからございますでしょうか。

大変長時間にわたりありがとうございました。色々なご意見いただきましたので、少しでも総合計画に反映していただければと思います。それでは本日の議事が終了しましたので、事務局に進行をお返しします。

事務局

長時間にわたりまして、委員のみなさまありがとうございました。修正等ありましたら9月22日の夕方までをお願いします。本日はありがとうございました。